



iTEP SLATE

中学・高校生向け英語能力測定テスト



www.iTEPexamjapan.com

iTEP SLATE (Secondary Level Assessment Test of English)

iTEP SLATE (中学から高校レベル) は、Academicのジュニア版と位置付けることができます。中学校、高校、専門学校で、新入学の生徒の英語力を測定しクラス分けをしたり、英語プログラムで学習中の学生の学習進捗度を把握するために使えるツールです。iTEP SLATEは、安全、正確、安価で、若い学習者のニーズを満たすために設計されています。400以上のアメリカの高校がiTEP SLATEを入学時の英語能力テストとして採用しています。

» Convenient 便利

オンデマンドで受験日の予約が可能。テストセンター、または自宅受験を選べます。

» Fast 迅速

テスト時間は受験者登録やテクニカルチェックに10分、テストは80分。合計90分です。テスト結果は最短1営業日で入手可能です。

» Practical 実用的

受験者の解答はいつでもオンラインで閲覧可能です。ライティング、スピーキングの解答を確認できるテストはiTEPのほかにはありません。

» Comprehensive 確実

iTEP SLATEは4スキル+文法の5セクションで構成されています。スコアレポートには、スキル別のスコアのほか、サブスキルのスコアも表示されます。

» Secure 安全

iTEPのFotoSure® 機能で、試験官がいなくても安心して受験できます。テスト問題は、iTEPのアイテム・バンク機能によってランダムに出題されるので、受験者ごとにテスト内容が異なります。

あなたもiTEPの仲間になりませんか？
全米の高校、教育関係の団体・組織が
iTEP SLATEを採用しています。

iTEPアセスメントシリーズは、
ACEI (学術資格評価協会)、
ACCETに認可された
国際的にも認められた英語検定テストです。

開発元iTEP International社とは

iTEP Internationalは、世界最大の留学生受け入れ教育機関であるELS Language Centers (米、プリンストン) を長年率いたペリー・エイキンス (Perry Akins) が、2002年に創立したエデュテック・カンパニーです。当時としては画期的なオンラインによる英語アセスメントテストを開発した理由を、「受験日は自由に選べず、費用は高額、かつ長時間のテストを少しでも身近なものにして、より多くの学生にアメリカに来てもらいたかったから」とiTEP 会長のエイキンスは言います。

ライティング、スピーキングをオンラインで試験するために当時のテクノロジーを駆使し、ユーザーフレンドリーを目指したプラットフォームを開発しました。これにより、インターネットへのアクセス、PC、ヘッドセットがあれば、いつでもどこでも受けられるテストとして世界中で実施されています。

アメリカの数多くの大学や高校が留学生の英語力を査定するためにiTEPを活用しています。



iTEP SLATEの概要

iTEP アセスメントシリーズは、英語を母国語としない人たちの英語力・英語の習熟度を測るためのテスト群です。中でも SLATE は、中学生、高校生の英語力を測定することを目指してデザインされています。Academic に比べると、テストに取り上げられるトピックや内容がより10代の若者向けになっています。公式留学用の英語能力判定テストとして活用するほか、以下のような用途でもお使いいただくことが可能です。

- アメリカの高校への留学希望者の英語能力判定として
- 学校、語学学校等でのクラス分け指標テストとして
- カリキュラム開発や進路指導の材料として
- 自社、自校で実施の英語プログラムの理解度・学習進捗度の効果測定として
- 奨学金や教育助成金の受給資格の判断材料として

テスト形式と実施方法

iTEP アセスメントシリーズは、オンラインベースで実施されます。インターネット、パソコン等の機器がそろっているのであれば、ご自宅、学校や企業内の施設での受験も可能です。環境に不安のある方は、iTEP Japan が認定したテストセンターでの受験をおすすめします。

- グラマー、リスニング、リーディングの3セクションは、選択肢問題で正解を選びクリックします。
- ライティングは、キーボードから解答を入力します。
- スピーキングは、ヘッドセットを通して解答を発話すると、iTEP プラットフォームに自動的に録音されます。

iTEP SLATE は、Plus か Core のどちらかを選ぶことができます。Core は3スキルのみを測定するテストで、気軽に短時間で受けていただくことができます。Plus は3スキルに加え、ライティング、スピーキングが入ることで、より実践的な英語コミュニケーション能力を評価できます。アメリカの高校への留学希望で iTEP SLATE を受ける方は Plus の公式版を受けていただくことになります。

iTEP SLATE-Plus (公式版)

リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4スキル+グラマーを測定。テスト時間は80分で、事前の受験者登録とテクニカルチェックに10分、90分で終了します。

iTEP SLATE-Plus (測定版)

テスト項目と時間は、公式版と同じです。スコアを留学目的で使用することはできませんが、公式版の準備のため、または自らの英語力を知りたい方におすすめです。

iTEP SLATE-Core (3スキル版)

リスニング、リーディングの2スキル+グラマーのテストです。テスト時間は60分で、より気軽に受けることができます。



iTEP SLATEのテスト構成

iTEP SLATEは、4スキル＋グラマーの5セクションで構成され、総合的な英語力を評価することを目指しています。iTEP Academicテストとレベルは変わりませんが、中高生がより身近に感じる学校生活、家族・友人について、放課後のアクティビティなどを話題にしています。

A グラマー(構造)ー 10分／1パート

- Part 1. 空所補充問題が13問です。選択肢の中から正解を選んで文中の空所を正しく埋めることが求められます。
- Part 2. 誤文訂正問題が12問です。文中の下線部から文法的に誤っているものを選ぶよう求められます。初中級から上級までの問題です。

B リスニングー 20分／3パート

- Part 1. 初中級レベルの4つの短い会話を聞き、それぞれの会話の内容を問う選択肢問題が4題です。
- Part 2. 中級レベルの2～3分の会話を聞き、その会話の内容を問う選択肢問題が4題です。
- Part 3. 上級レベルの4分の講義を聞き、その講義の内容を問う選択肢問題が6題です。

C リーディングー 20分／2パート

- Part 1. 約50語の初中級レベルの文章について内容を問う選択肢問題が2題です。
- Part 2. 約200語の中級レベルの文章について内容を問う選択肢問題が4題です。
- Part 3. 約500語の初上級レベルの文章について内容を問う選択肢問題が6題です。

D ライティングー 25分／2パート

- Part 1. 問に対する答えを、50～75語程度の文章にまとめて解答します。低・中級レベルの設定です。制限時間は5分で、メモを取ることができます。
- Part 2. あるトピック(上級レベル)について、自分の意見とその意見の根拠を175～225語程度の文章にまとめます。制限時間は20分で、メモを取ることができます。

E スピーキングー 5分／2パート

- Part 1. スピーカーから流れる質問音声を聞き、ヘッドセットに向けて解答します。30秒の準備時間で解答をまとめ、その後、45秒の制限時間いっぱいを使って解答します。*画面でも問題の確認ができます。
- Part 2. あるトピック(上級レベル)についての意見を求められます。意見をまとめる時間が45秒で、60秒かけてヘッドセットを通して解答します。問題は音声と画面での文章の両方で確認できます。



iTEP アビリティガイド

アメリカでの学生生活や実社会で、英語をどの程度使えるかを表示した英語到達度指標 ((CAN-DOリスト)) です。スコアレポートにある採点結果とアビリティガイドを対照することで、受験者は今の自分の英語到達度を確認することができます。

iTEP	CEFR	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
6.0	C1 上級者	授業の内容に関わらず、多様な話題について全体の意味を把握し、詳細内容も理解できる。	辞書をほとんど使わずに英語を読むことができ、追加の時間もほぼかからない。	時折、文法とスタイル上の間違いはあるが、一般的な学校でのタスクや課題は、たいていこなすことができる	聞き手は、追加の努力をわずかにするだけで、発音を聴き取ることができる
5.9 ↑ 5.0	B2 中上級者	上級レベルの授業内容でも、主題と、それをサポートする詳細情報のほとんどを理解できる	複雑な文章や新しい語彙を理解するために、文脈や構文上の手がかりを利用することができる	- 身近な話題について、まとまりのあるエッセイを書くが、文法的な間違いもある - 文章の構成力と展開力は最良ではないがまずまず良い	- かなり長い文章の中で自分の意見を述べるができる - 身近な話題であれば、抽象的な概念も表現できるようになってきた - 語の選択と文化的な適切性に関し間違えることがある - 聞き手が努力をしないと、発音が聞き取れない
4.9 ↑ 4.0	B1 中級者	- 繰り返し聞く、内容を確認しないと話についていけないことがある - 話し手の意見を理解し始める - アカデミックな講義の主旨は理解するが、重要な詳細は聞き逃す	- 教科書や記事の要旨はほぼ推測することができるが、詳細の把握にはばらつきがある - 語彙が限られているため、読解の速度が落ちる	- ある程度まとまった文章を作れるが、文章構成に弱点があり、文法上の誤りもある - 文体上の特徴を完全には理解していない - 語彙が正確ではなく、洗練されていないことが多い	- 短い文章で意見や見解を表現する - 質問、挨拶、要望、好みなどを表明することができる - 聞き手が相当な努力をしないと、発音が聞き取れない
3.9 ↑ 2.5	A2 初級者	- 身近な話題であれば話の内容を理解することができる - 言葉によらない非言語の合図や繰り返しに大きく頼る - 文章が複雑で語彙が難しくなると、理解できないことが多い	- 文脈から知らない単語の意味を見極め始める - 簡単なリーディングマテリアルであれば理解できる - 語彙が不足しているため、間違った、不完全な理解しかできず、読むスピードも遅い	- 身近な話題について、回りくどい言葉を使って表現している - 読み手が相当な努力をしないと、文章の意図がつかめない - 基本的な語彙と単純な文法構造のみを用いる	- 単純なものであれば、質問、挨拶、要望、好みなどを表明することができる - 聞き手はかなり集中し、努力をしないと、発音が聴き取れない - 身近な話題に関する、短くて単純なプレゼンテーションができる
2.4 ↑ 0.1	A1 初心者	- 簡単な単語でゆっくり話されている場合、非常に基本的なやり取りを理解する - 意識して明瞭に話された場合、単純な挨拶、発言、および質問を理解する - 身近で単純な指示を理解する - 繰り返ししてもらわないと理解できないことがしばしばである - ゆっくりと話されたいくつかの単語やフレーズは理解することができる	- 非常に単純化されたフレーズや文であれば理解できる - 短い文の要旨を把握できる - 身近でよく使うつなぎ語や基本的な代名詞を認識できる - いくつかの単純な文法や語彙構造は理解しているようだ - アルファベットおよび単独の語を認識できる	- 基本的な間違いを繰り返し犯す - 短くて単純な文は書けるが、間違いが多いため、意味が曖昧である - 自分のことや個人的なことであれば、正しいスペルで表現し、よく使う単語やフレーズをコピーすることができる	- 単純な質問に反応できる - 強勢やイントネーションの間違いが多い - 短い発話であれば理解してもらえる - 中断、言い間違い、いい直しがよく見られる - 最低限の単語や短いフレーズで意思疎通ができる - 発音はほぼ理解できない

iTEPスレートスコア対照表

CEFRを基準にしたiTEPと他の英語資格試験のスコア対照表です。

iTEP SLATE	KET	SLEP®	PET	TOEFL JR.®
6.0				
5.5 - 5.9		64	97 - 100	884 - 900
5.0 - 5.4		58 - 63	94 - 96	867 - 883
4.5 - 4.9	96 - 100	55 - 57	90 - 93	850 - 866
4.0 - 4.4	90 - 95	53 - 54	80 - 89	791 - 835
3.5 - 3.9	82 - 89	50 - 52	70 - 79	745 - 790
3.0 - 3.4	76 - 81		62 - 69	703 - 744
2.5 - 2.9	70 - 75	45 - 46	53 - 61	675 - 702
2.0 - 2.4	65 - 69		45 - 52	646 - 674
1.5 - 1.9	60 - 64	42 - 44	36 - 44	637 - 645
1.0 - 1.4	55 - 59		27 - 35	628 - 636
0.5 - 0.9	50 - 54	40 - 41	18 - 26	619 - 627
0.0 - 0.4	45 - 49	37 - 39	9 - 17	609 - 618
		34 - 36	0 - 8	600 - 608
		31 - 33		

TOEFLおよびSLEP®は教育試験サービス(ETS)の登録商標です。

iTEPの制作にETSは関わっておらず、iTEPあるいはそのスコア同等性チャートは、いかなる形においても、ETSの承認を受けたものではありません。iTEPの制作にケンブリッジは関わっておらず、iTEPあるいはそのスコア同等性チャートは、いかなる形においても、ケンブリッジの承認を受けたものではありません。

iTEP SLATE-Plus—TOEFL® Jr. 比較表

	iTEP SLATE-Plus	TOEFL® Jr.
テスト時間	90分(4スキル+文法)	- TOEFL Jr.スタンダードは115分 - TOEFL Jr.コンプリヘンシブは134分
測定スキル	4スキル+文法：リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング	- TOEFL Jr.スタンダード：リーディング、リスニング、言語形式および意味 - TOEFL Jr.コンプリヘンシブ：リーディング、リスニング、スピーキング
対象受験者層	中高校生	11歳から15歳
テストのレベル	初級レベルから上級レベルまで	初級レベルから上・中級レベルまで異なる3つの難易度
テストの用途	- 高校、専門学校、ボーディング・スクール入学のための英語能力判定 - 語学学校でのクラス分け - 語学研修前後での英語能力の進捗チェック - 進路指導やカリキュラム開発への指針 - 交換留学プログラム受け入れ候補者の認定	- 語学プログラム内での生徒のクラス分けや進捗状況の確認 - 英語で指導するインターナショナル・スクールでの英語能力査定 - 英語で教育する非英語圏の学校における英語能力査定
テスト形式	インターネット	- TOEFL Jr.スタンダードはペーパーテスト - TOEFL Jr.コンプリヘンシブはインターネット
安全性	- iTEP認定のテストセンター、自宅、または組織の施設内 - テストセンターは、写真付きIDを試験官が確認。自宅受験は写真付き身分証明書をアップロード - テスト問題はライブストリームされるので、同じ問題が繰り返されることはなく、同会場内であっても内容の重複はない - FotoSure™ ソフトウェアにより、受験終了まで写真撮影でカンニング等のチェックができる	- テストは、安全が確保されたETSの認可済み試験センターでのみ実施可能 - 承認を受けた試験官が会場にあり、受験者一人ひとりの写真付きIDを確認
採点方法	- 選択肢問題は、iTEPのソフトウェアによる自動採点 - ライティングとスピーキングは、ESLの訓練を受けた英語ネイティブの専門家が評価	ETS採点者が試験を評価する。通常、スコアはETSから入手するが、雇用主や学校側が結果を提供することもある
スコア	- 総合スコアは0.1刻みで0から6表示 - サブスキルのスコアも表示されるので、スキル別の得意・不得意など詳細を把握することが可能	- TOEFL Jr.スタンダードは、ETSの優先ネットワークオフィスにより採点 - TOEFL Jr.コンプリヘンシブのリーディングおよびリスニングはコンピュータ採点 - TOEFL Jr.コンプリヘンシブのスピーキング・セクションは採点者による評価
受験予約方法	iTEP Japanホームページより予約	- 受験日はETSが前もって決定 - 定められた日時にのみ実施可能
結果入手に要する時間	最短1営業日で発行可能	2～3週間以内に入手
iTEPのその他の利点	- iTEPパートナーは、テスト結果をオンラインで閲覧可能、ライティングやスピーキングの解答の確認もできる - iTEP テストのカスタマイズ、モジュール化にも対応 - iTEPパートナーは、自身の施設をiTEPテストセンターとし、その場でテストを実施することが可能	

iTEP SLATEを採用する高校例

iTEP SLATEはこれまでに、アメリカの高校に入学する生徒の英語力の評価に使われてきました。他にも英語研修プログラムに在籍する在校生の英語能力の改善度を把握できるよう、数百に及ぶ高校、ボーディング・スクール、および中学校で採用されています。

iTEP SLATEを採用している高校の一部をご紹介します。



iTEP SLATEのパートナー校例

American University Preparatory School

iTEP レベル 4.5

ロサンジェルスの中にある高校。地の利をいかし、カリフォルニア大学へ進学する生徒も多い。

Maranatha High School

カリフォルニア州パサデナにある1965年創立の私立高校。パサデナは高級住宅地としても知られる。

St. Anthony Catholic High School

カリフォルニア、ロングビーチにある私立高校。

The Colorado Springs School

コロラド州にある大学予備校。コロラドの大自然を満喫しながら勉強することができる。

Tree of Life Christian Schools

オハイオ州の州都、コロンバスに位置する。コロンバス周辺は日系企業なども多く進出している。

The Darrow School

ニューヨークにある1932年創立の由緒あるボーディングスクール。

The Knox School

ニューヨーク、ロングアイランドに1904年に創立された。大学進学準備のカリキュラムで有名。

Mid-Pacific Institute

1908年創立の小中高一貫教育で有名なハワイにある高校。国際バカロレアの提供もある。

思いついたら即受験！

必要なのはインターネット、パソコン、そしてヘッドセット

90分であなたの英語能力を正確に測定します。

夢のアメリカ留学をiTEPでより身近なものに！

世界 51 カ国で採用されている実績

1000 以上のアメリカの大学・高校が公式認定している信頼

iTEP はグローバル時代を生き抜くための英語力を身につける早道です！

簡単・便利な英語力評価ツール iTEP は、様々な場面で活躍しています。

- 中学、高校
- ボーディング・スクール
- 集中英語プログラム
- 専門職資格認定機関

